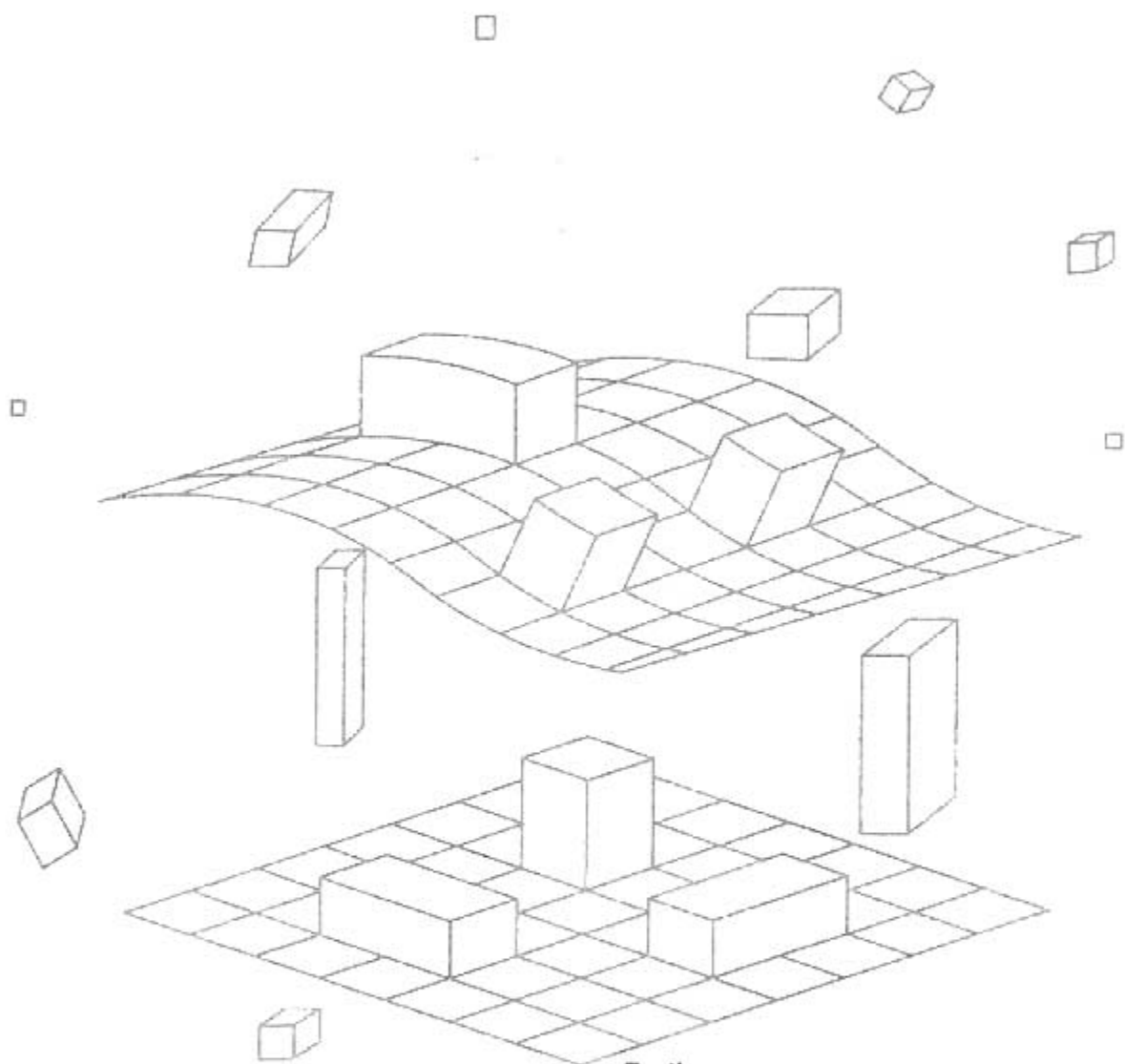


ITSUMIKAI



目次

会長あいさつ	1
先生あいさつ	2
トピックス	4
五三会建築設計競技会	5
広島工業大学建築・環境系職員名簿	9
五三会活動報告	10
五三会収支決算報告	11
五三会会則	12
編集後記	14

NO. **29**
平成14年度版

ごあいさつ

会長あいさつ



五三会会長
梶山孝之 (S49年卒)

新たな21世紀を迎え、平成13年度の五三会・総会にて、「会長」という大役を受け、はや一年が過ぎ去ろうとしています。会員の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

21世紀に入った途端に、今までに無い（あるいは、今までにも在ったが重要視してこなかった）我々の価値観や平和神話を根底から大きく揺さぶる程の大事件が起きました。「世界は一つ」と唱えながらも、片や現実的には、個々人をはじめとして世界中の至る所に敵として当然ながら在る宗教観や生活観の差異と、そこに潜んで突け込み隙を狙う人間臭い損得勘定等が、愕然と在る様です。WTCテロ事件に端を発して、それに抗しての米国を中心としたアフガン攻略、その裏に潜むであろう米国的資本主義の在り方と日本政府の追従的な対応への肯定性と批判性。国内的には、小泉内閣が提唱しながらも今だに明確化されず効を奏しない「構造改革」にまつわる論争的論争。そして、依然として出口の見えない日本経済の不安感・不況・失業・倒産、教育問題、環境問題、狂牛病、雪印のすり替え発覚事件……等々。数えても数え切れない程の根拠不明の複雑な事件や現象が起っています。

さて、広島工業大学において建築系の第一期卒業生が社会に出られて、今年で34年目に当たります。広島工業大学で同じ建築系のことを学び合い、卒業した者同士の間で連携の場・会・機関である同窓会として、「五三会（いつみかい）」があります。これまでの間、諸先輩をはじめ多くの方々が無言と運営維持して来られた結果、今の「五三会」が存続しています。時代と共に少しずつ活動内容も変化してきた事と思いますが、現在行われている主な活動内容としまして、主に次のようなものが在ります。

- ・今やすっかりと県内の大学建築系学科等の間でも定着しました「五三会主催の設計競技（28回）」
- ・会誌「TUMIKAI」の発刊（28回）
- ・地味では在りますが根気の要る「同窓会名簿」の整理・作成

- ・年に何度か開かれます同窓同士の「交流会」（新入生歓迎会・座談会・忘年会・その他の懇親会）
- ・平成13年から取り組み始めました、インターネットによるホームページの開設と「建築見学会」
- ・その他：大学との連携、懸賞制度認定事業……等々。

会員の皆様は、建築系同窓会「五三会」に何を願い、期待されていますか。

ここ近年、これらの活動を中心になって執り行っているのは、毎年の事ながらごく一部の会員の方々です。しかも、諸幹事の方々はやや固定化し、やっとの思いで活動を維持している感があるのも否定できません。それだけに、これらの方々への御理解と御協力は計り知れないものがあります。まさに、ボランティアであり、自己投資であります。自分の足元から、まさに社会的実践をしておられる自己研鑽だどつくづく感じます。その中でも、唯々すばらしく感じ入るのは、皆さん共通しているのは、「小さな自分探し」ではないか……と思えることです。知らない世界に関心をもち、挑戦して自己展開や自己発見するのにもいざなうし重要なことではあります。それと同時に、このような世の中だからこそ、知ったつもりの世界を、同窓の内を今一度謙虚に受け留め素直に深く考え見つめ直すのも、同じく大切で必要なことと思います。

「五三会」の今後の行く末は、私達同窓生の一人一人の姿勢と実践の如何に関わっています。今一度自分達の育った立脚点の一つでもある建築系同窓会「五三会」に立ち返って、積極的な御参加をされることを篤に御願ひしたいと思います。

最後に、「五三会」の諸活動に対し御協力を頂きました各大学の先生方および学生の皆様、諸官庁の方々、会報誌のスポンサー協力をして下さいました各企業の方には、心から御礼を申し上げます。今後とも「五三会」の主旨を御理解いただき、御協力の程を宜しく御願ひ致します。

創発的進化を目指して



建設工学科
助教授 福田 由美子

暗いニュースが多く先行きの不透明感が日々募る今日、社会は、新たな光を求めて苦悩しています。そのような中、超領域、多領域をキーワードに、学際、業際での動きも活発化し、組織も脱皮を繰り返している状況があります。その際、発想の手助けになるものとして思い浮かぶのは、「創発(emergence)」という言葉です。これは、生物学や哲学の世界の「創発的進化」という理論にみられ、「進化を通じて、新しい主体が『創発し』、それはその祖先との関連では分析不可能で予期できない性質を示し、新しい研究方法を必要とする」というものです。「創発」とは、有機的関係性のバタゴンの自然発生的な出現のことであり、分析不可能、予期できない、といった性質を示しています。建築と土木、建築と環境、建築と造園、建築と社会、建築と地球、建築と……、異分野が出会うその局面には、従来の流れを変えるための大きな摩擦、トラブルが生じるかもしれません。しかしながら、そこには創発の可能性が潜んでいるとも言えます。異なるものがぶつかる中で関係性が生成し、従来の枠組みを越えた新たな主体、存在が見えてくる。現代は、そのような時代ではないでしょうか。

私ども建設工学科建設工学コースには、現在、1学年80名前後の学生が在籍しております。すでにご存じの通り、当コースは建築の専門性の中でも「構造系」に主軸をおいた教育を行っており、土木分野の社会建設工学コースとともに、学科を構成しています。学生は全員、旧土木工学科の同窓会である広土会会員として活動しておりますが、卒業後は本人の意志により、五三会、広土会のどちらか、または双方の会員になります。しかし、中にはその趣旨や魅力を理解しないまま、同窓会には所属しないケースもあるかもしれません。構造系主体といいつつも、何人かの学生は、毎年、五三会主催の設計コンペには積極的に参加し、刺激ある勉強の場を得ているところ

です。このように環境デザイン学科の研究室と交流を持つことのある学生は、五三会に触れる機会がしばしばありますが、そうでない学生にとっては、少し遠い存在のように感じております。

現代は、建築業界における専門家や技術者として、社会から問われる能力やワーキングスタイルが多様化しているとともに、大学も変わりつつあります。加えて、若者の意識もかつてとは、かなり違ってきていると思われれます。様々な不安、不信から、辿るべき道を見失うこともあるかもしれません。このような時代だからこそ、建築という共通のベースを持った者たちが、互いにつつかり合い、助け合う中から、困難を糧としてより大きな成長を遂げることが求められます。そのためには、勇気と柔軟性と、そしてちょっぴりの楽天性をもって、コトに当たることが必要でしょう。そして、同窓の諸先輩方が、一歩先を歩みながら、建築を志す若者たちを、リードして頂けたらと思います。

ネットワーク、情報、IT、コミュニケーション…このような言葉が氾濫し、人と人がつながるツールが溢れているようで、実は、つながっていない社会。やはり、実体的な場の共有、意識の共有がなければ、意味ある関係は築けないような気がします。同窓会は、その実体的場になり得るとも思います。施工エンジニアや設計者、行政職員として、様々な分野ですでに活躍をされている五三会の会員の方々の歴史は、大きな財産です。そこを核としながら、老若が関係を結び、創発が起ころ、新たな主体が生成され、また変化しながら進化します。このような同窓会活動を期待しております。

広島工大建築系卒業生の皆様が、真のネットワークのもと、新しい時代に向け、さらなる発展と活躍を遂げられますことを心から祈念します。

環境デザイン学科の今



環境デザイン学科
講師 平田 圭子

平成13年度も終盤を迎えた。平成13年度を終えると、環境学部が全学年共に環境デザイン学科と環境情報学科の2学科となる。幅広くとらえた環境デザインに将来の夢を持つ学生から、環境デザインの視点をもつ建築系の将来に夢を持つ学生が多くなる。

現在、環境デザイン学科の学生がどのように学んでいるか少々お伝えしたい。日々の座学や実習は、本学の建築学科を卒業された菅原主任教授、村上教授、手越助教授を中心に、さらに、環境デザイン学科の屋台骨となる実習科目では非常勤講師に渡辺武彦氏、西宮善幸氏、祝山孝之氏、北野俊二氏、三島久範氏、平田欣也氏をお願いし、実際に設計に携わる視点から臨場感のあるご指導を頂いている。

組まれたカリキュラム以外に、私立大学経費補助金特別補助の「高等教育研究改革推進（以前の“特色ある教育研究”）」がある。この「高等教育研究改革推進」は、体験学習（古建築見学）・講演会・ワークショップよりなる。体験学習では、奈良の古建築（東大寺、興福寺、薬師寺、當麻寺、法隆寺）を、福岡国際大学の山本雄雄教授にご同行頂き、解説を伺いながら、1・2年生15名が参加した。講演会は1月20日旧鶴学園広島校舎にて、東京理科大非常勤講師の西沢大良氏を迎え、なんと学生が約120名も参加し「デザインの方法」という題目にて開催された。ワークショップは、春季休業中に西沢大良氏と東京工業大学助教授の塚本由晴氏を迎え、実施される予定である。学生がわくわくしてワークショップが始まるのを待っているのである。

これだけではない。夏季休業中には鶴学園の大型バスにて、格安の見学会が学生自主企画にて開催されている。今年は、山口県の隈研吾建築都市設計事務所設計の「海/フィルター」、宮崎浩/プランツアソシエイツ設計の「中原中也記念館」「TAG」「道の駅 仁保の郷」と、小川晋一都市建築設計事務所設計「Kid Museum 玖珂町こどもの館」の見学を行った。

建築学科卒業生の学生への多大な働きかけもあり、この2～3年広島工業大学の名前が、コンペ受賞欄に度々登場し、東京の大学院に進学している環境デザイン学科卒業生から

「コンペの受賞者に広島工業大学の名前をしょっぴちゅう見ますが、すごいですね」というノールがあちらこちらからもらう。主な今年度受賞のものを紹介する。

・安来市主催「ハーモニータウン汐彩・学生による住宅建築設計コンテスト」最優秀賞：石川誠君（院2年）他（もう1つの最優秀賞は、筑波大学院へ進学した卒業生）

・第28回日新工業建築設計競技「『嵐』のなかの家」1等：花本大作（院1年）、2等：益永研次+hana（4年）

・建築学生・設計大賞2001「住み代わる家」優秀賞：横田健次（院1年）・横川貴史（4年）
・第28回五三建築設計協議「公・共の場～間（はざま）～」最優秀賞：荒木了（3年）等々、である。

最優秀賞・1等以外にも佳作等にエントリーが複数されている状況である。設計に強い広島工業大学の名前が再度復活か。オープンデスクでお世話になった設計事務所の方々にも感謝する次第である。

設計関係以外にも、大学主催の州立テラウエア大学への短期語学研修（1ヶ月）、イリノイ大学派遣留学プログラム（4ヶ月）への参加と、環境デザイン学科の学生も積極的に行動している。

少子化による学生数の減少、不況による就職難、JABEEによる資格の国際標準化、前向きに果敢に向かわなくては行けない課題は次々現れる。が、「父が工大の建築学科の卒業生です。」という学生や、企業開拓にて訪問した先で聞く卒業生の活躍、学生の卒業研究の調査依頼に伺った先の市や県、又、企業での「私は工大の建築学科の卒業生です。」といううれしい一言。学生がNPOに参加したり、アルバイト先にも工大の卒業生が現れる。なんと頼もしいことかな。

環境デザイン学科（他学科も同様）は、卒業生という財産に、まだまだ前向き姿勢がとれる活力を与えてもらっている。現在、環境デザイン学科では学生組織を作っている最中である。これによりスムーズな先輩との交流がとれると思われる。今後とも皆様のご活躍を祈り、学生共々よろしくお願ひしたく思う次第である。

トピックス ～1年間の活動報告～

五三会建築見学会

—広島市西消防署—

平成13年8月の五三会幹事会におきましてデザイン活動推進事業部会より建築見学会の提案があり、賛成多数で開催が決定しました。すでに定着してきた観のある五三会建築設計競技の公開審査、講評・座談会と同じ日に開催することで、相乗効果を期待することになりました。見学施設は話題性や移動距離などを考慮した結果、広島市西消防署に決定いたしました。西消防署についてはすでにご存知の方も多いと思いますが、原爆投下から50年を記念した「ひろしま2045ピース&クリエイト事業」(現在「ひろしま2045:平和と創造のまちに」に名称変更、略称P&C)の一つとしてつくられた建物です。設計コンペによって選ばれた山本理顕氏の提案は、市民と消防署とのかかわり方をガラス張りの透明建築というかたちで表現され、ほぼコンペ案通りの建築が完成して2年あまりが経過しています。

平成13年12月9日 見学会の当日は天候に恵まれ、全面ガラスルーバーで覆われた建物が平和大通りの緑の中で光り輝く姿が印象的でした。参加者は約20名、在学生からOB、そしてそのお子さんまで加わるという幅広い構成でした。西消防署には見学コースが整備されており、そのコースに沿ったかたちで約1時間、消防署の職員の方が案内して下さいました。また、建設当時広島市宮崎課のご担当の方に来ていただくことができまして、建築の専門的な事に関して一緒に建物を見

ながら説明を受けたり質問をすることができました。ガラスルーバーのディテール決定の経緯、鉄骨を表す表現の施工面や法規面の苦労話など、興味のあるお話をうかがうことができ有意義な時間を過ごせたと思います。

最後になりましたが、西消防署の職員の方々、お休みににもかかわらずボランティアで来て下さった元宮崎課の空田さん、見学会の調整役をお引き受けいただいた広島市都市計画局都市政策部都市デザイン係のみなさんにお礼を申し上げたいと思います。

- 名称：広島市西消防署 福島コミュニティ消防センター 救急教育センター
- 設計：山本理顕設計工場
- 施工：佐藤・上野谷・大起建設工事共同企業体
- 竣工年：2000年3月
- 所在地：広島市西区都町43-10



五三会交流事業

平成13年度の五三会交流事業部会の活動としましては、在校生の皆様と五三会の皆様とのより一層の親睦を深める意味を込めまして、下記の通りの行事を開催致しました。

① 五三会交流会の開催

日時：平成13年6月23日(土) 17:00～21:00
 場所：第一部 OBのみなさんと語る会 → 広島工業大学広島校舎
 第二部 懇親会 → 広島そごう屋上ビアガーデン
 出席者：29名

② 五三会忘年会の開催

日時：平成13年12月9日(日) 18:00～20:00
 場所：やぐら茶屋(アサヒビール館6階) 出席者：19名

コンペ入選 各地で学生の活躍がひかかります。作品の紹介は、ホームページ等で行います。
 ハーモニータウン夕彩—学生による住宅建築設計コンテスト 安来市主催
 さくらハウス

石川 誠 (村上研究室) 大学院環境デザイン学科2年
 鳴渡 克顕 (福田研究室) 大学院工学研究科土木工学専攻2年
 横田 健司 (村上研究室) 大学院環境デザイン学科1年
 平田 友隆 (福田研究室) 建設工学科4年
 安井 裕之 (福田研究室) 建設工学科4年
 西元 咲子 (福田研究室) 建設工学科4年

第28回 日新工業建築設計競技 新建築2月号掲載

「嵐」のなかの家

1等 花本大作 村上研究室(大学院1年)
 2等 益永研司+hana (村上研究室) (土井重毅 (平田研究室)
 (久安邦明 (村上研究室)—全員環境デザイン学科4年
 大野慶雄 (広川研究室)
 佳作 久安邦明+hana (益永研司
 (村上研究室) (大野慶雄
 (土井重毅

建築学生・設計大賞2001 「住み代わる家」 大日本土木主催 新建築 3月号掲載予定
 優秀賞 横田健司(村上研究室) 大学院環境デザイン学科1年
 横川貴史() 環境デザイン学科4年

第28回五三会建築設計競技結果報告

28th ITUMIKAI COMPETITION

課題： 公・共の場 ～間(はざま)～

メインテーマ「広島のふれあいの場を考える」の、3回目となりました本年度事業は、課題を「公・共の場～間(はざま)～」と題し、女学院大学教授で様々な場面で活躍の灰山彰好先生に審査をお願いしましたところ、ご多忙にも関わらず快くお引き受け下さりました。

昨年11月28日に応募締切を迎え、広島工業大学をはじめ、諸大学、高专から計45作品にも及ぶ力作が寄せられました。

12月9日に鶴学園広島校舎において、応募された学生の方々など50名以上が見守る中、公開審査会が執り行われました。また、灰山先生におかれましては応募作品一つ一つに講評を与えながら、非常に丁寧な審査をして頂きました。応募総数の多さもさることながら、どの応募作品も力作揃いで甲乙つけ難く、大変悩まれたご様子でした。審査結果は右の通りとなりました。入選の皆さん、おめでとうございます。

残念ながら誌面の都合により、ここでは入選作品の紹介のみに留まらせて頂きますが、応募された作品はどれも、一生懸命に取り組まれた様子が感じられました。また、一組で複数の提案をされる方がいらっしゃるなど、この設計競技或いは課題に対する学生の方々の姿勢を目の当りにし、大変嬉しく感じると共に心強く思いました。

昨年度同様、審査会終了後は灰山先生をはじめ、日頃公共の場に関する仕事をされていらっしゃる広島市職員の方々、設計の実務に携わっている方々をお招きし、応募された方々との座談会を行いました。

応募作品を基に公共の場の在り方について応募者である学生諸君と、現実実務として携わっておられるコメンテーターの方々との間で、熱のこもった論議が交わされたいへん有意義なものとなりました。

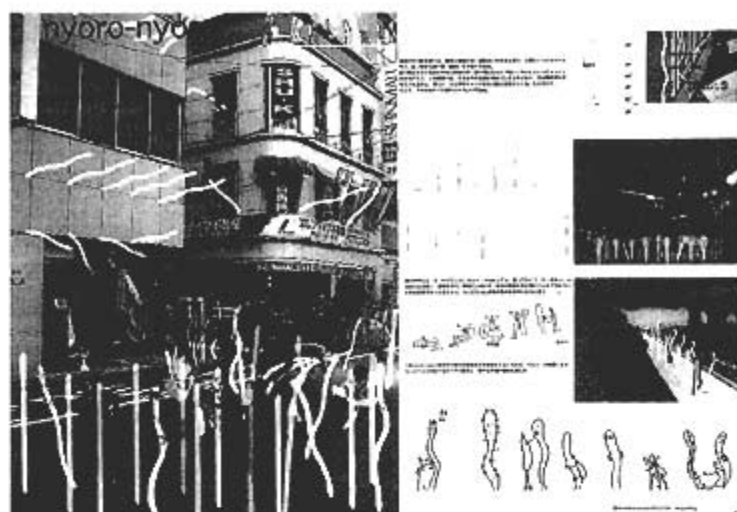
今後とも、この設計競技がより発展していきますよう、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、灰山先生にはこの建築設計競技事業にご理解を頂き、ご多忙の中審査、講評そして座談会にご貴重なお時間を割いて頂きましたこととお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

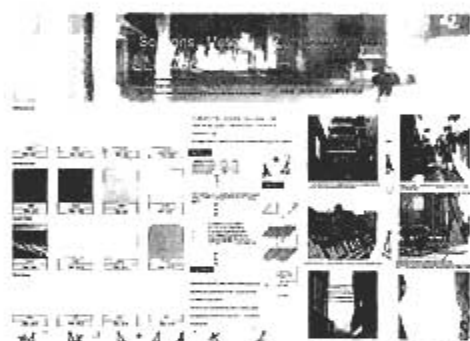
以上にて、本年度建築設計競技事業の報告を終わります。

審査結果(敬称略)

- 最優秀 鈴木了
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)
- 優秀 STEP.com
田辺繁生 植木康剛 江田聖美 大津絵美 六戸彩子
山根勝 小泉智史
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)
- 優秀 F
安井裕之 山名健介 嶋渡克顕 今村かおり 瀧名哲也
豊田憲洋 平田友隆 宗村卓季 岩本誠司 梅野幸治
大西雅博 大森英樹 北村麻衣 小林茂大 柴田雄一郎
高中華英 榎山泰啓 本田祐樹 宮本昌和 森下祐司
山内紀英
(広島工業大学工学部建設工学科)
- 優秀 谷尾尚隆
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)
- 優秀 F
安井裕之 山名健介 嶋渡克顕 今村かおり 瀧名哲也
豊田憲洋 平田友隆 宗村卓季 岩本誠司 梅野幸治
大西雅博 大森英樹 北村麻衣 小林茂大 柴田雄一郎
高中華英 榎山泰啓 本田祐樹 宮本昌和 森下祐司
山内紀英
(広島工業大学工学部建設工学科)
- 佳作 前原正隆
(広島工業大学技術研究所)
- 佳作 加納勝彦
(広島工業大学 卒業)
- 佳作 STEP.com
田辺繁生 植木康剛 江田聖美 大津絵美 六戸彩子
山根勝 小泉智史
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)
- 佳作 渡辺直子
(広島女学院大学大学院)
- 佳作 三人組
久安寿明 石川誠 花本大作
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)
- 佳作 F
安井裕之 山名健介 嶋渡克顕 今村かおり 瀧名哲也
豊田憲洋 平田友隆 宗村卓季 岩本誠司 梅野幸治
大西雅博 大森英樹 北村麻衣 小林茂大 柴田雄一郎
高中華英 榎山泰啓 本田祐樹 宮本昌和 森下祐司
山内紀英
(広島工業大学工学部建設工学科)
- 佳作 F
安井裕之 山名健介 嶋渡克顕 今村かおり 瀧名哲也
豊田憲洋 平田友隆 宗村卓季 岩本誠司 梅野幸治
大西雅博 大森英樹 北村麻衣 小林茂大 柴田雄一郎
高中華英 榎山泰啓 本田祐樹 宮本昌和 森下祐司
山内紀英
(広島工業大学工学部建設工学科)
- 佳作 山本哲
(広島大学大学院)
- 佳作 -WCC- world cooking cafe
高山武士 蟻塚学 木原一郎 竹内一哉 都築元
野崎俊佑
(広島工業大学工学部第四期)



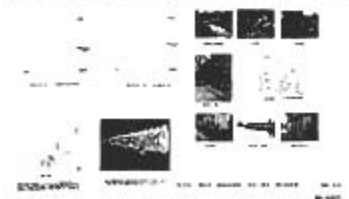
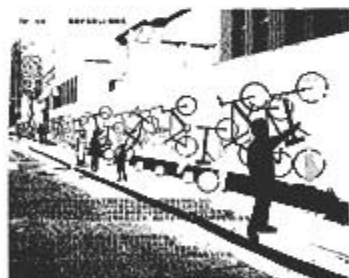
最優秀 荒木 了
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)



優秀 STEP.com 田辺 繁生 他7名
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)



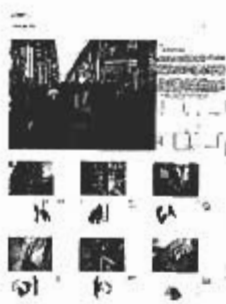
優秀 F 安井 裕之 他20名
(広島工業大学工学部建設工学科)



優秀 F 安井 裕之 他20名
(広島工業大学工学部建設工学科)



優秀 谷尾 尚隆
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)



佳作 前原 正隆
(近畿大学工業技術研究科)



佳作 加納 勝彦
(広島工業大学 卒業)

佳作 STEP.com 田辺 繁生 他7名
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)

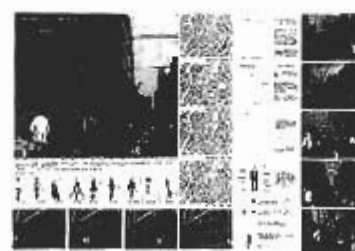


佳作 渡辺 直子
(広島女学院大学大学院)



優秀 F 安井 裕之 他20名
(広島工業大学工学部建設工学科)

佳作 三人組 久安 邦明 他2名
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)



優秀 F 安井 裕之 他20名
(広島工業大学工学部建設工学科)



佳作 山本 哲
(広島大学大学院)

佳作 -wcc- 高山 武士 他5名
(広島工業大学工学部第四類)

五三会の皆様

審査員 灰山 彰 好
(広島女学院大学教授)

帰り新参の私に伝統ある五三会コンペの審査という大役をお預けくださったこと、お礼申し上げます。ほぼ10年ぶりに「学生コンペ作品」というものを見て思った印象、プレゼンがうまくなったな、の一語につきます。私などが年賀はがきで四苦八苦していることを、皆さんはA1紙面で自由自在にこなしておられました。それからもう一つ、中味を言えば、学生は永遠に学生だな、ということでした。苦言を述べているのではありません。私の身体はどこかにまだ残っていた「若さ」をくすぐられて、妙にうれしかったのです。

結果を見てびっくり、量、質共に（順番が逆か）、広島工大の大勝利でした。主催校としての意気込みもあるでしょうが、一時、誰かが旗を振ったからといって、これだけの成果が上がるものではありません。貴校の日常のお心がけを、本学（広島女学院大）もぜひ見習いたいと思います。

さて、で、コンペの結果をどう総括するか。「公・共の場」とのやや弾まない（失礼）大テーマのもと、今回の「間（はざま）」は学生の気質にも合い、取り組みやすかったのではないのでしょうか。公と共の中に私を見いだす—これこそ納税者市民の権利であるわけで、街を楽しむノウハウが、どの作品にも披瀝されていたと思います。しかしプロのタマゴとしてもっと大切なのは私の中に公と共を見いだすことの方、この図々しさがなければプロジェクトは育ちません。この辺りの取り組みが、「にょろにょろ」をはじめとしてちょっと弱かったかなと思います。

最後にこれは私の見解、建築作品のコンペではPhotoshopよりもCADを使ってもらいたいと思います。それからできたら手描きも。一生使える技術を、若い内に研鑽してみてください。



広島工業大学 建築・環境系教職員名簿

〔建設工学科 建築工学コース〕

氏 名	
佐藤立美	教 授
高松隆夫	”
宮崎祐助	”
浅野照雄	助 教 授
岩井哲	”
福田由美子	”
大林真	技 術 員

〔環境学部 環境デザイン学科〕

菅原辰幸	幸
田頭良子	子
水田一征	征
藤原正道	道
森保洋之	之
神田隆至	至
野添久観	観
竹野徹夫	夫
村上山勝	勝
中野忠芳	芳
入田中昭	昭
佐藤洋輔	輔
西川加協	協
廣川田誠	誠
清田越義	義
手黒岩俊	俊
三村泰臣	臣
三好孝治	治
平田圭子	子
ドナルド・ファウラー	

●平成13年度「五三会」の活動の流れ

- 「五三会」総会・懇親会
 - 平成13年4月21日
 - ・前年度の活動報告や決算の報告
 - ・次年度の計画案・予算案や役員改選など
- 幹事会
 - ・役員及び事業委員が各事業の遂行について話し合う。
 - 平成13年度は7回の幹事会を開催
 - 場所：鶴学園広島校舎
- 交流事業部会
 - ・新入会員歓迎会の開催
 - 平成13年6月23日
 - 場所：広島そごう屋上ビアガーデン
 - ・「五三会」ゴルフコンペの開催
 - 平成13年10月11日
 - 場所：リージャスクエスト
 - ・忘年会の開催
 - 平成13年12月9日
 - 場所：やぐら茶屋
- デザイン活動推進事業部会
 - ・「五三会」建築設計競技の開催
 - ・西消防署学生会、公開審査会・座談会
 - 平成13年12月9日
 - 場所：鶴学園広島校舎
- 広報事業部会
 - ・会報誌「五三会」(ダイジェスト版)の編集
 - 第29号(ダイジェスト版)の発行
- 広告担当
 - ・会報誌「五三会」に掲載いただく広報依頼者との調整窓口
- 「五三会」名簿管理担当
 - ・「五三会」正会員名簿の更新及び管理
 - ・入会案内の送付
 - ・正会員の拡充計画
- 顕彰制度認定事業委員会
 - ・五三会学生大賞の認定
 - 卒業年次における、環境デザイン学科・土木(建設)工学科学生のうち、その年度において卒業研究又は卒業設計が優秀と認められた学生の表彰を卒業式の後に行う。

●平成13年度の主な活動を紹介します。

- 1) 五三会設計競技
 - 五三会設計競技では、現在、26回から30回までの5年間のメインテーマを「広島のふれ

合いの場を考える」として定め、様々な“公共の場”の魅力的なあり方について創造し、皆で広島の都市デザインの可能性について考えていくコンペを開催しています。

28回目となる今回は、審査を広島女学院大学教授の灰山 彰好先生にお願いしました。そして、公開審査の後に行われた座談会では、先生を始め、仕事を通じて現在広島の都市デザインに関わっておられる方々と学生が一緒になって、コンペ作品の内容や広島の都市デザインについて意見交換を行いました。

2) 五三會会報誌からホームページへ
昨年度の活動報告でお伝えした「平成13年度会報誌ダイジェスト版(縮小版)」の作成と「五三會ホームページ」の開設は、現在、多くの卒業生(ボランティア)の方々のお力によって進められています。

「五三會ホームページ」の開設には、お忙しい中、手越先生にご尽力をいただいておりますが、幹事会の方でホームページに掲載する内容を試行錯誤しておりますので、当面は、試験的開設が続くものと思われまます。情報がうまく伝わらず、会員の皆様にはご迷惑をお掛けするかも知れませんが、平成14年度中には完成する予定ですので、よろしくお願ひします。

●平成13年度役員

(会 長)	梶山 孝幸	(昭和49年卒)
(副 会 長)	松田 智仁	(昭和55年卒)
(会 計)	落合 木堂	(昭和56年卒)
	田中 義登	(昭和63年卒)
	木下 和夫	(昭和63年卒)
(会計監査)	松本 孝志	(昭和52年卒)
	神垣 聡志	(昭和61年卒)
(書 記)	奥野 功貴	(平成4年卒)
	小瀧 宏治	(平成6年卒)
(幹 事 長)	三島 久範	(昭和60年卒)
(副幹事長)	平田 欽也	(昭和60年卒)
(顧 問)	三上 明夫	(昭和44年卒)
	中島 伸夫	(昭和49年卒)
	山野 正晴	(昭和54年卒)

[五三會事務局]

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 広島工業大学環境学部環境デザイン学科
 菅原研究室内 TEL082-921-3121

ホームページ案内

<http://53.cc.it-hiroshima.ac.jp/53kai>

五三會より会員の皆様に随時情報を発信致したいと思ひますので、皆様のメールアドレスをホームページへ登録をお願ひ致します。

五三会収支決算報告

平成13年度収支決算報告 (平成14年3月1日現在)

◆収入の部			(単位 円)
繰	越	金	5,609,336
新	会	費	744,770
広	員	料	290,000
利	告	入	365
息	収		
収	入		
合	計		6,644,471
◆支出の部			(単位 円)
会	議	費	42,460
バ	イ	ト	97,250
名	簿	成	10,139
簿	作	消	31,920
印	刷	耗	140
金	融	機	8,623
融	機	関	83,160
手	数	料	182,980
雑	費		0
広	報	誌	333,616
報	誌	郵	0
送	材	費	26,541
取			1,668
設	計	競	0
計	競	技	0
企	画	活	0
画	活	動	0
新	入	会	26,541
学	生	大	1,668
予	生	賞	0
繰	越	金	5,825,974
合	計		6,644,471

平成14年度収支予算(案)

◆収入の部			(単位 円)
繰	越	金	5,825,974
新	会	費	800,000
広	員	料	310,000
告			
合	計		6,935,974
◆支出の部			(単位 円)
会	議	費	70,000
バ	イ	ト	90,000
名	簿	成	10,000
簿	作	消	10,000
印	刷	費	40,000
金	融	機	1,000
融	機	関	10,000
手	数	料	500,000
雑	費		100,000
広	報	誌	100,000
報	誌	郵	50,000
送	材	費	50,000
取			320,000
設	計	競	50,000
計	競	技	0
企	画	活	0
画	活	動	0
新	入	会	100,000
学	生	大	30,000
予	生	賞	100,000
繰	越	金	100,000
合	計		5,464,974
合	計		6,935,974

※決算期の都合により、本年度から会報誌印刷費を次年度にて負担する。

建築学科記念事業基金収支決算報告

平成13年度収支決算報告 (平成14年3月1日現在)

◆収入の部			(単位 円)
繰	越	金	1,525,658
利	息	収	318
入			
合	計		1,525,976
◆支出の部			(単位 円)
雑		費	0
在	学	生	43,700
交	流	費	0
成			
在	学	生	0
助			
成			
金			1,482,276
合	計		1,525,976

平成14年度収支予算(案)

◆収入の部			(単位 円)
繰	越	金	1,482,276
合	計		1,482,276
◆支出の部			(単位 円)
雑		費	10,000
在	学	生	100,000
交	流	費	150,000
成			
在	学	生	1,222,276
助			
成			
金			1,482,276
合	計		1,482,276

広島工業大学建築・環境系同窓会 「五三会」会則

第一章 総 則

- 第 1 条 本会は広島工業大学工学部建築学科・同土木工学科建築工学コース・環境学部環境デザイン学科(以下、「建築・環境系」と称す)同窓会「五三会」と称する。
- 第 2 条 本会は、本部を広島工業大学内に置く。但し、総会で必要と認めた場合に支部を置くことを得る。
- 第 3 条 本会は会員相互の交誼を厚くし、かつ母校の建築・環境系学科の発展に貢献することを目的とする。
- 第 4 条 本会は前述の目的達成の為に下記の事業を行なう。
- (1) 集 会
 - (2) 会員相互の連絡並びに共助に関する事
 - (3) 会誌及び会員名簿の発刊
 - (4) 母校に対する精神的、物質的援助
 - (5) 会員の功績に対する顕彰
 - (6) その他本会の目的達成に必要な事

第二章 会 員

- 第 5 条 本会は下記の者を以て組織する。
- (1) 正 会 員 広島工業大学建築・環境系卒業生(大学院を含む)のうち会費を納入した者
 - (2) 準 会 員 正会員以外の広島工業大学建築・環境系卒業生
広島工業大学建築・環境系在学学生(大学院生を含む)
 - (3) 特別会員 母校建築・環境系教職員及び旧教職員
 - (4) 名誉会員 本会の発展に貢献し、名誉会員としてふさわしいと総会で認められたもの

第三章 役 員

- 第 6 条 本会は下記の役員を置く。
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----|
| (1) 名誉会長 | 置くことができる | (2) 会 長 | 1 名 |
| (3) 副 会 長 | 2 名 | (4) 会 計 | 2 名 |
| (5) 会計監査 | 2 名 | (6) 幹 事 長 | 1 名 |
| (7) 幹 事 | 若干名 | (8) 書 記 | 2 名 |
- 第 7 条 本会の役員は次の方法で決める。
- (1) 名誉会長は総会をもって推す
 - (2) 会長・副会長・幹事長・会計・会計監査・書記は総会で正会員の中から選ぶ
 - (3) 幹事は総会の決議により正会員の中から委嘱する

- 第 8 条 各役員はそれぞれ求の任務を持つ。
- (1) 会 長 本会を代表し会務を総括する
 - (2) 副 会 長 会長を助け支障がある場合は代理する
 - (3) 会 計 会計事務に当たる
 - (4) 会計監査 会計を監査する
 - (5) 幹 事 長 会務を主宰する
 - (7) 書 記 書記事務に当たる

第 9 条 役員は任期は一年とし再任をさまたげない。但し欠員は役員会にはかり補充し、これによって就任した者の前任者の残りの期間とする。

第四章 顧問

- 第 10 条 この会に顧問は若干名をおく。
- (1) 顧問は総会の決議により適任者を委嘱する
 - (2) 顧問は会の諮問に応じる

第五章 会議

- 第 11 条 会議を分けて定期総会、臨時総会、役員会及び事業委員会とする。
- 第 12 条 総会は最高の議決機関で毎年 1 回開く。臨時総会は役員会が必要と認めた時、会長が召集する。
- 第 13 条 総会は次のことを決める。
- (1) 会則の変更と改正
 - (2) 決算及び予算
 - (3) 事業委員会の組織
 - (4) その他緊急事項の協議
- 第 14 条 役員会は会長が認めた時召集し、次のことを決める。
- (1) 総会に附議する原案
 - (2) この会の運営に関する諸事項
 - (3) 事業委員会の組織
 - (4) その他緊急事項の協議
- 第 15 条 事業委員会は必要に応じて役員により組織し、第 4 条に掲げる事業についてその事務を処する。
- 第 16 条 会議の議決は出席者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長がこれを決定する。

第六章 会計

- 第 17 条 この会の経費は会費、寄付金及びその他の収入をあてる。
正会員は終身会費として、入会時に 10,000 円を納入しなければならない。
- 第 18 条 この会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第七章 委任事項

- 第 19 条 この会則に定めのあるもののほか、必要な事項は役員会においてこれを定める。

付 則

本会則は、平成 8 年度から施行する。
旧会則で正会員であったものは、本会則における正会員に移行する。

編集後記

会報誌発行にあたり御寄稿下さった方々、スポンサーの皆様に御礼申し上げます。
また、いつも五三会会報誌発行にあたり御支援頂きましてありがとうございます。
今回より、会報誌を縮小となりましたが、より一層、中身の濃いものを目指して作
っていきたいと思っていますので、御協力の程宜しくお願い致します。

「五三会」第29号編集委員

寺尾 慈子 (H4) 原尻 忠始 (H4)
高野 栄一 (H4) 三好 征一 (H9)

(連絡先)

五三会事務局
広島市佐伯区三宅二丁目1番1号
広島工業大学環境学部環境デザイン学科
菅原研究室内
(〒731-5143) 082-921-3121 (代)

広島工業大学建築・環境系同窓会会誌

「五三会」 第29号

編集責任者 三好 征一
発行責任者 梶山 孝之
企画・製作 ハローデンイン
発 行 平成14年3月